

令和2年7月8日 13:00時点

今後の大雨に備え、河川管理施設の被災状況調査を開始しました！

菊池川水系は7月5日～6日の豪雨によって、二度のはんらん危険水位を超過するほどの水位を記録しました。そこで、菊池川河川事務所では、今回の豪雨による河川管理施設への影響を把握するため、被災状況調査を開始しました。なお、本日午前の調査の結果、菊池川本川及び繁根木川の2カ所で堤防等の被災が確認されました。

- 1 被災状況調査の実施方法及び被災箇所について
Ⅰ 管理区間全川を対象にした河川巡視を実施。

【被災箇所】

- ① 菊池川水系菊池川右岸28k000付近（山鹿市西牧地先）の堤防表法面が延長約40mにわたって洗掘
※詳細については別紙図面及び写真参照
- ② 菊池川水系繁根木川右岸2k600付近（玉名市富尾地先）の堤防表法面が延長約30mにわたって洗掘
※詳細については別紙図面及び写真参照

Ⅱ 上記2箇所について詳細な調査を実施中。

- 3 今後の対応予定
 - ・ 現在、堤防被災箇所の応急対策を検討中
 - ・ 今後も降雨が続く状況のため、被災状況調査については引き続き継続します。

問い合わせ先：国土交通省九州地方整備局 菊池川河川事務所

技術副所長 橋口 幸生 管理課長 福島 研一郎

TEL 0968(44)2171

被災状況(菊池川)

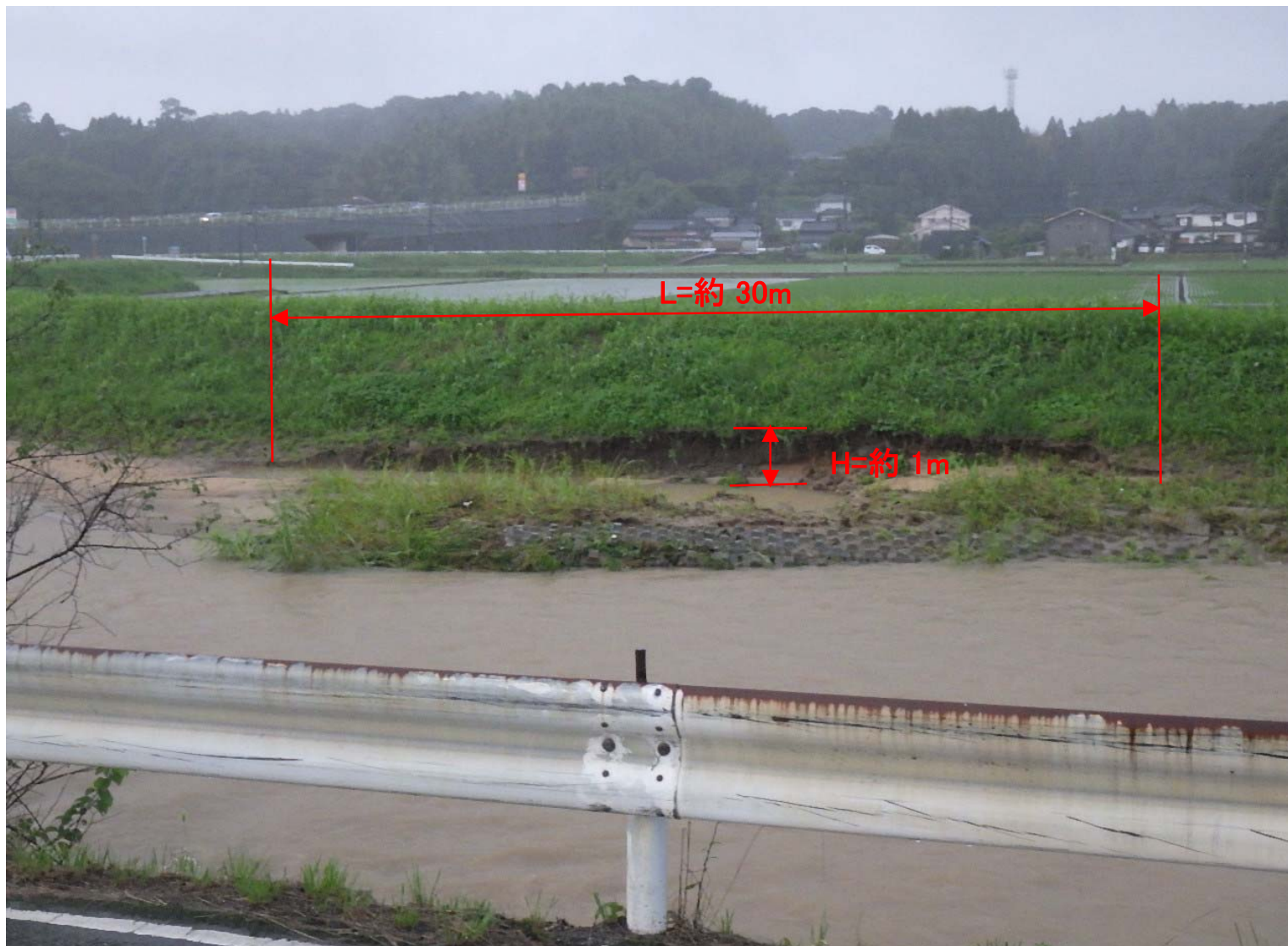


堤防表法面洗掘(菊池川右岸28k000付近)

堤防表法面洗掘箇所 菊池川 右岸28k000付近



被災状況(繁根木川)



堤防表法面洗掘(繁根木川右岸2k600付近)

